

事例紹介 サテライトオフィス北見

- ・国では、首都圏への一極集中の是正と、地方の人口減少に歯止めをかけるための施策が展開されているが、北見市では、テレワーク環境が整備されたサテライトオフィスを開設している。
- ・そのサテライトオフィスでは、“仕事をする場所”だけではなく、学生との交流拠点としても利用されている。

■コンセプト

- ・テレワーカーのワーキングスペース
- ・ICT人材の育成拠点
- ・企業のビジネスマッチング拠点
- ・市内外テレワーカーの交流拠点
- ・大学生と企業とのコミュニティスペース
- ・各種イベントスペース

■テレワークとは、情報通信技術（ICT）を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のことで、ワークライフバランスを整えやすく、効率的に仕事ができ、生産性が向上、社内で育成された貴重な社員の介護や結婚・育児による離職の防止などのメリットがある。

■テレワークの拠点として、北見市では「サテライトオフィス北見」を、交流人口の増加と首都圏の“ひと”と“しごと”の誘引による地域活性化を目指すことを目的に、国の地方創生関連事業として市内中心商店街に整備し、平成29年6月1日オープン。

■概要

所在地	北海道北見市北2条西2丁目8番地
用途	企業や個人のテレワーカーのワーキングスペース、地元大学生と企業との交流拠点、起業家や地元テレワーカーなどの人材育成拠点、市が実施するテレワーク等に関する事業及び市が認める事業等を行う場所として使用する。
主な設備	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンスペース 30席 ・占有スペース 10席 ・プロジェクター（2台） ・ロッカー（ダイヤル式） ・給湯室 ・書籍 等 ・テレビ会議室（防音対策済）2室 各4席 ・Wi-Fi 環境完備 ・テレビ会議システム（2室分） ・プリンター（複合機） ・ホワイトボード（2台）
利用時間	午前10時から午後6時まで

- ・利用者は開設1年目の平成29年度は延べ約1,800人、2年目の30年度は延べ約2,500人。IT企業の利用率が高い。
- ・市は開設後の半年間、試験的にオフィスを無料開放。30年度は帰省時にテレワークをする人に無料開放。地元の北見工業大学の学生の人材育成拠点として、学生の利用も無料にしている。

